

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
田中 潔			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
田中 潔		岡山商科大学 経営学部 経営学科・商学科(商学部 商学科・産業経営学科・国際観光学科)	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実践	OKSb-130601-0	11人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

岡山市中心市街地来街者調査

2. 調査の内容／概要：

岡山市中心街区における来街者意向調査（量的アンケート調査、路上面接方法）
受講者は11人のうち、調査に参加した者は5人であった。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

調査地地点の通行者を無作為にサンプリング。
母集団サイズは未知。
標本数は平日40以上、休日40以上、合計80以上とする。

4. 主な調査項目：

性別、年齢区分、休日・平日、来街目的、来街までの所要時間、頻度、調査地点周辺に不足している機能、今後賑わうと思われる岡山市中心部などを基本項目として、各自でアレンジ。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

現地調査は1人ずつ所定の用具を持ち、事前に選定した調査地点にて担当制でじった。路上にて調査員自らが回答者を選定し、調査を依頼した。協力が得られる場合、事前に用意した質問紙によって回答を収集した。回収率算出のため、数取器により依頼数（配布数）を計測した。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2013年11月下旬、岡山市岡山駅周辺、5人

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

5名合計の
配付数932（声掛け） 回収率43.6%
回収数406

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

エクセルの関数利用による専用シートankstatにより集計・分析。
グラフ、基礎統計量、度数分布表、2次元クロス表など。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

岡山市市中心地に対する市民の意見・意向を収集できた。岡山市中心商業は表町と駅前の2眼構造となっており、市民の満足度も低いものとなっている。今後、この分極構造の是正が大きな課題となる。

10. 報告書刊行の予定と概要：

刊行予定はない。発表会向けに作成したパワーポイントファイルとして成果物を収集している。